ICCG-11 参加記

バルク結晶分野
無機材質研究所 宮沢靖人

6月に開かれたICCG-11に参加講演を頂いた所感である。

6月1日開講、5日まで。在来の無機の分野と比較して2日短縮されたが、その分より情報量の充実感は感じられた。

ICCGの目的は、各分野の研究発表による相互理解を促進することである。後半の分野では、新しい研究の発表が多く、特にその成果発表が評価されている。

今後の研究に期待を込めて、次回のICCGに再度参加したいと考えている。